

Densho Bato

でんしょ鳩



公益社団法人
北九州市障害福祉ボランティア協会
〒804-0067
北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた6階
北九州市立東部障害者福祉会館内
TEL 093-882-6770 FAX 882-6771
E-mail:XLZ02133@nifty.ne.jp
URL:https://ksvk.jp/
◇郵便局振替口座/福岡 01740-4-8846
◇福岡銀行 戸畑支店 普通口座/2130527
公益社団法人北九州市障害福祉ボランティア協会

◆みんなが住みよい
まちづくりへ
～沢見地区での取組～
古賀 由美子 4P

◇令和7年度
定期総会のご案内
◇「ゆく年くる年
まごころ募金」
ありがとうございました
5P

◇玉木幸則氏講演会
「誰ひとり取り残されない
まちづくり」を終えて
北九州市障害福祉
ボランティア協会
常務理事 宮崎 浩 2～3P

◆お知らせいろいろ
協会カレンダー
8P

◆マイフレンド
「一期一会」
戦争の語りべ
赤崎 雅仁さん 6P

◇ご支援
ありがとうございます
◇受賞おめでとう
ございます 7P

座標軸

つい先日のこと、アメリカのロサンゼルスで山火事があり、その被害の大きさに驚いたばかりですが、それから間をおいて、この日本でも先月の26日に岩手県大船渡市で山林火災が起きてしまいました。火の勢いは衰えず、週間になろうとしています。そして今もお炎上し続けています。燃え広がれば住宅地が飲み込まれるのではとニュースで伝えられていました。

避難所で休まれている人、遠巻きから燃え盛る光景を呆然と見つめている人、自分の家のある方向を、涙をぬぐいながら見つめている人など、思いがけない出来事に憔悴され不安な毎日を通すごとに思っています。なぜ延焼を食い止められないのか？と誰しもが思うところですが被害が拡大しないよう一刻も早く鎮火することが望まれます。(3月9日鎮圧)

大雨、地震、そして、我々九州に住む者は縁の薄い雪も今年は豪雪で5メートルを超えたところもあります。

自然災害は予想できないものです。いつも思うところですが、災害に弱い子ども、障害のある人、難病や介護を必要としている人などのことは報道されませんが、被災地にもおられるはずだと思ってしまう。

(K・O)

玉木幸則氏講演会

「誰ひとり取り残されないうまちづくり」

～みんなが考える合理的配慮の提供～を終えて

北九州市障害福祉ボランティア協会 常務理事 宮崎 浩

令和6年12月15日(日)ウエルとばた多目的ホールにおいて、玉木幸則氏講演会「誰ひとり取り残されないうまちづくり」～みんなが考える合理的配慮の提供～を開催しました。

玉木幸則氏は、長きにわたりNHK Eテレ(教育テレビ)「バリバラ」のご意見番としてレギュラー出演されていた方です。

以下、この講演会の概要を報告します。

この講演会のタイトルを「誰ひとり取り残されない」としました。「誰ひとり取り残さない」という言葉は、よく聞きますが、何だか冷たい感じがしませんか。これは、SDGs(持続可能な開発

目標)の理念を和訳したものです。助けてあげるといった上から目線のような言葉に聞こえてなりません。

自分も取り残される側になる可能性があることを前提に「誰ひとり取り残されない社会」をつくっていきたい。そして、そのためには、特定の人だけではなく、みんなが自分事のように合理的配慮の提供について考えてもらいたい。言葉尻一つかもしれないが、このような意図で話を進めます。

私たちがマイノリティ

NHKの番組制作に関わり「生きづらさを抱えるすべてのマイノリティ」の人から様々な社会問題を取り上げてきました。

日本に居づらくカナダに

難民申請したレズビアンの日本人がいること。外国人技能実習制度は、奴隷制度と言われていることなど。

私たち日本人は、人権意識の低い国に住んでいるという現実をどう受け止めているのでしょうか。そして、私たちも、置かれている立ち場が違えばすぐに「マイノリティ」となることを忘れてはならないと思うのです。



玉木幸則氏の活動の原点

私は、無酸素状態で生まれたのが原因で脳性麻痺となりました。その後、乳幼児から手術を繰り返され、療育施設に入所しました。治療・訓練を強いられ、家族と暮らす経験も奪われ、いわゆる、優生思想で矯正されてき

たわけです。

くしくも、兵庫県では「不幸な子どもの生まれない県民運動」が始まり、自分のような障害児は不幸な子として定義されました。

「幸福か不幸などと、誰かが決めることではなく自らが決めること。幸福を追究する権利を阻んできたのは、むしろ社会の方にある」というのが、私の活動の原点になっています。

小・中学校は普通学校に通い、先生たちがノートテイクや、補習をしてくれました。学校行事にも参加しやすいように図ってくれて、今思えばこれが合理的配慮の提供なのでしょう。

しかし、高校は義務教育ではないため、理不尽ながら養護学校高等部に行かなければなりません。

私たちは、誤解しているようです。中学校は、中等教育前期課程と言い、高校は、中等教育後期課程と言いま

す。高校無償化と訴える政治家はいますが、義務化と言う人はいない。高校までは義務化となっている国はたくさんあるのです。高校までは義務教育であつていいと思うのです。

フルインクルージョンを目指して

最近、特別支援学校が増えてきました。かなりの予算を投じて特別支援学校が新設されています。何故、この予算を障害のある子が、普通学校に通えるように充てないのでしょうか。

私には、子どもがいます。その子が「お父さんって障害者なん?」と聞いてきました。学校で身体の不自由な人は、かわいそうな人みたいに習ったようですが、自分の親を見るとそんなことはない。我が家で子どもなりに学習しているのだと思います。しかし、知識だけでしか学べない子は、障害者はかわいそ

うな人という印象のまま残ってしまふ。

障害者が、社会から分離されているのは、理解できない。人間関係とは、アップデートを繰り返しながら育っていくものであるにもかかわらず、学びの場、働く場、暮らしの場が、分離されている社会で「共生社会」と言われても理解できるはずありません。

私は、障害のある人と障害のない人が、混ざり合って暮らしている「フル・インクルージョン」。誰も排除されない共に生きている社会を目指しています。

「だれもが便利」に合理的配慮の提供

障害者差別解消法では、障害を理由とした「不当な差別的な取り扱い」を禁じ、障害のある人からの要望に「合理的配慮の提供」を行うことが義務化されました。

この法を説明する前に差別について、大切なことを話

しましょう。それは、差別をしている人を責めるのではなく、起きている差別的な事象に目を向けて解消を図っていくということです。

障害のない人は、利用できないのに障害があると利用できない。このような不平等な事象が差別であって、この場面においても差別的な事象は止みません。

そこで、どうすれば障害があつても利用できるかを話し合っていく。差別をしている人を責めていても、根本的な解消にはつながらないのです。

合理的配慮とは「リーズナブル・アコモデーション」を和訳した言葉ですが、意味が分からず対等ではない感じもします。

リーズナブルは、お安いやお得などよく聞きます。でも、これは和製英語であり、本来の意味は理に合っていると訳されます。

すなわち、障害のある人か

らの理に適った要望は、お願いではなく権利そのものなのです。

そして、アコモデーションとは、工夫や調整と訳されます。

つまり、合理的配慮の提供とは、障害のある人の理に適った要望に応じ、その要望を受けた側と建設的に話し合い、工夫や調整を積み重ねていくことであり、今できることを探りながら、お互いの関係を深めていく過程にあると思われまふ。

スロープが設置されると車いすを使う人のためだけでなく、ベビーカーやキャリーカートを使う人のためにもなり、いつのまにか、みんなのスロープになっています。このように事前にバリアが改善されていると、不特定多数の人にも利用しやすくなる。合理的配慮の提供により、誰もが暮らしやすい環境になってくるところに、本来の目的を見ることがができます。

そして、誰ひとり取り残されない

私たちは「共生」と言い過ぎて思うに思えます。

よく調べると「共生」とは生物学用語であり、このユートピア的な美しい言葉の裏には、様々な生物間には、力の駆け引きの側面があるということです。

だからこそ、「共生社会の実現」を目指すとするならば、様々な人がいるのが前提ゆえに、工夫や調整が必要であり、意見が合わないからと言って排除してはならないのです。

そこで「協働」とした方が的を射ているように感じまふ。「協働」とは、それぞれが役割を持ち、できることを持ち合わせることを意味しており、協働社会とは、多様性を認め合い、共に学び、育ち、働く、暮らすことができる社会でしょうか。

差別や排除を取り除いて

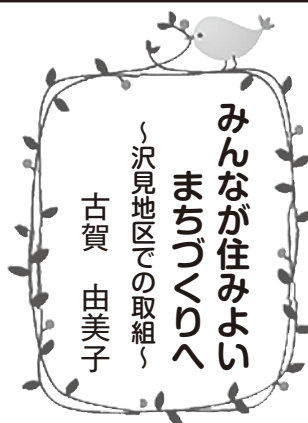
いきながら地域づくりを進めていくこと。これこそが「誰ひとり取り残されないまちづくり」となるのです。

以上が、講演内容の概要です。玉木さんのお話しは、時折、関西弁で笑いを取り、引き込まれるようでした。

私どもボランティア協会では、障害者差別解消法を広めるために出前講座をしています。どうぞお声掛けください。

お問合せ先 ボラ協
TEL:093-882-6770
FAX:093-882-6771
Mail:XLZ02133@nifty.ne.jp
担当:宮崎 浩(常務理事)





障害のある人たちが地域の二員として安心して生活していけるための支援事業として、私が住んでいる戸畑区沢見地区をモデル地区として取り上げてから2年目の令和6年度がまもなく終わろうとしています。今年度の取り組みは古くからの会員である折本さんからの協力依頼から始まりました。

参加型の楽しい企画

折本さんは、沢見まちづくり協議会副会長であり、「福祉・健康部会」の部会長として、これからの地域福祉を担ってほしい小・中学校生を対象に参加型のゲームを取り入れた障害福祉に関するテーマの事業を実施した

いので一緒に考えてほしいとお話でした。そこで沢見地区に在住の私は、これを機会に「福祉・健康部会」のメンバーに加えていただくことにしました。

実施日は1月25日(土)「福祉フェスタinさわみ」と題して福祉ビンゴゲームや高齢者・障害者体験、また次回のために沢見地区の地図を広げて、まち歩きのコースをみんなで作えたりと盛りだくさんのプログラムを準備して当日を迎えました。



参加者は12名、スタッフ等みんな27名となり、大変盛り上がり笑顔が絶えな

い催しとなりました。

ただ、そもその目的であつた小・中学校生はインフルエンザの流行中のため参加が全く残念でした。

それでも、ボランティア・市民活動センターから色々な教材をお借りしたりアドバイスをいただいた



たおかげで、障害福祉関連のピクトグラムを使った福祉ビンゴゲームではまちづくり協議会の橋本会長より「私も初めて見るマークがあり勉強になった。楽しく学べるこんな企画を今後も続けて部会にはやってほしい」という感想の言葉をいただきました。

沢見地区に住んだこともある啓発担当の竹田理事のワンポイントのコメントもとても分かりやすかったと好評でした。

折本部会長は反省会の最後に「福祉講演会形式では

ないゲーム感覚のプログラムは初めての取り組みで手探りだったが、参加者の反応などを見て今後も取り入れていきたいと思いました。



また、「福祉・健康部会」単独の開催というよりも大きなイベントのコーナーのひとつだったり他の部会とコラボするなど、子どもたちや多くの人に参加してもらえようという考えは考えていきたい」と締めくくりました。

次のステップへ

ボラ協の沢見地区担当者として、また「福祉・健康部会」の一員として、部会の皆さんとご一緒に当日の運営を役割分担して実施で

広告



SKC 会計グループ
税理士法人 SKC

税務代理業務 ・ 税務相談業務

グループ会社

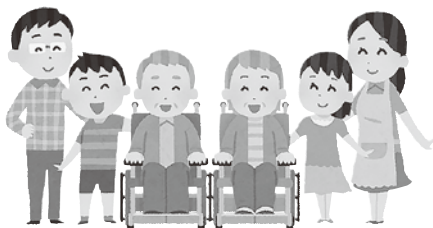
〒804-0003 北九州市戸畑区中原新町3番3号
TEL. 093-482-5588 / FAX. 093-482-5566
<http://www.sakaieiei.co.jp/>

株式会社さかい経営センター 株式会社北九州経理代行センター
一般社団法人 相続・贈与相談センター北九州

きたことは、私にとつては大きな前進でした。これまで地域の様々な事業に当日スタツフとして参加してきましたが、まだまだ地域の一員として皆さんと同じように関わっていかないと感じていたので、私からです。

これから部会活動を大事にしながらも、障害のある人の孤独・孤立問題などの課題を地域の皆さんと一緒に考え、そして障害のある人もない人も、何らかの手助けが必要

な時に声をあげられる、聞いてもらえる誰かが近くにいる、そんな地域にしていきたいという私の願いであり、ボラ協の願いでもあるこの活動を息長く続けていきたいと思っています。



令和7年度 第44回 定期総会のご案内

日時: 2025年5月24日(土) 13:30~16:30

会場: 東部障害者福祉会館 研修室6AB (戸畑区汐井町1-6)

内容: 事業報告・決算 事業計画・予算

役員改選 公益法人制度の改正による規約の変更

第2部「みんなであそぼうさい」(北九州発あそぼう+ぼうさい)

※あそんで楽しみながら防災の在り方を考えよう!



「ゆく年 くる年 まいごころ募金」

ありがとうございます(敬称略)

赤崎 雅仁	井生 郁子	池田 秀則	伊高 幸江
伊藤めぐみ	岩橋由美子	上永 徹	宇野久美子
大友 征子	大曲 一徳	岡村 正子	鹿子嶋初美
川本美佐子	喜多 一男	北村 英明	桑木野加代子
清原 雅幸	蔵内のぞみ	古賀由美子	佐野 哉夫
定野 陽一	下畑 久志	宗 ひろ美	竹田 英樹
竹本 豊	中島 和子	永手 靖志	西村 邦子
羽地 良一	増田 恭一	宮崎 育恵	安森キミ子
山田 裕司	山本 悦子	吉田 誠治	吉本 茂行
障害者支援施設ちづる園	HEART	BURGER	
税理士法人エルビーエー	株式会社ジエネック		
株式会社新光機器	他匿名14名		

ご寄付総額 ￥442,000

年末から実施の「ゆく年 くる年 まいごころ募金」に55名の方からご寄付をいただきました。会員をはじめ多くの皆様がボランティア協会を支えてくださっていることに心より感謝申し上げます。

皆様のお気持ちを大切に、障害のある人もない人もともに「誰もが暮らしやすい社会」をめざして、地域の中で役割を果たしていくために使わせていただきます。ご支援ありがとうございました。

広告

相続・生前贈与、新規開業、事業承継 法人設立、医業会計、社会福祉法人会計等



税理士 松本会計



TEL 093-691-8888

初回相談無料!お気軽にお問い合わせください

〒807-0874 北九州市八幡西区大浦1丁目5-17

<https://www.matsumoto-taxoffice.com/>

こちらの看板が目印です→

税理士法人 松本会計

マイフレンド

Peace



障害福祉ボランティア協会

会(以下ボラ協)に集まった使用済み切手は、ボランティアの人たちが切手のまわりや封筒から切り取るなどして整理してくれています。今回その整理した切手

を買収していただき、ボラ協の活動資金の一部として応援してください。賛助会員の赤崎雅仁さんをご紹介します。

今年の2月「北九州切手のつどい2025」に参加され、ボラ協にも立ち寄ってくださいました。

赤崎さんは平成24年から賛助会員になっていたのですが、ボラ協のことはどこで知られたのですか？

使用済み切手について、鹿児島県の社会福祉協議

会に問合せをしたのですが、個人にはお譲りしていいと言われ、福岡、北九州と探して、ボラ協を知りました。

今回赤崎さんから事前にいただいた資料を拝見しました。郵便局にお勤めされていたんですねー

1936年に中国東北部

の旧満州の

珲春という

場所で生ま

れました、日

本がアメリカ

や中国と戦

争を始める

前に父が移

り住み仕事

をしていまし

た。戦争が始

まっても両親

や弟妹達とわ

りと平和に暮

っていました

。私が小学校

3年生の頃に

父が兵隊に取

られ生活は一

変しました。幼



「二期一会」
戦争の語りべ 赤崎雅仁さん

た。母が残してくれた手紙に

は、私と弟への思いと、日本が

恋しく、帰りたいことが書

かれていました。1953

年に弟と2人で中国から鹿

児島(現始良市加治木町)の

叔父の元に帰りました。私

は16歳になっていましたので、

同級生とは歳の差4歳で加

治木中学に入学し、卒業後

に洋品店に

勤め、その

ち、加治木郵

便局に採用

されました。

ボラ協から送られた

切手はどう

活用されてい

るのですかー

切手が好きな仲間たちと

交換会を行っています。使用

済み切手は珍しい切手が良

いのかボラ協の職員さん

にも聞かれたことがあります

が、一般的にたくさん出回っ

ている普通の切手が一番重宝

されます。

鹿児島で戦争の語りべを

されているんですねー

2018年8月に鹿児

島市大竜町の地域交流施

設で「むかしむかし戦争が

あった」と題した戦争につ

いての展示会があり、私は収

集した切手の中から戦争に

関わるものや絵葉書を紹

介しました。

中国東北部にあった満州

国建国を祝う物や太平洋

戦争の戦闘場面やヤルタ会

談などを描いた切手、旧日

本陸軍が鹿児島で実施した

特別大演習をテーマにした

絵葉書を展示しました。

切手の図案ではかつて

多く描かれています。戦争で

たくさんの方の命が失われ

たことやその人たちが亡

くなって、悲しい思いをした人

たちがいることを忘れてはい

けないと、これからも戦争を

知らない若い人たちに語り

べとして伝えていきたいと思

広告

中学・高校で役に立つ!!

学習習慣をつけたい!!

はじめのいっぽをお手伝い!!

KUMON

お問い合わせ・お申込みは 指導者：藤村 恵 / 080-5243-1808

教室名

公文式 門司藤松教室

公文式 門司大里南教室

教科

算数・数学・英語・国語 (幼児から学習できます)

所在地

門司区光町1-1-1光ビル101号

門司区原町別院2-21朝倉ビル2F

ご支援ありがとうございます

ボランティア協会
宮崎常務理事



ノートパソコン
2台

社会福祉法人
西日本新聞民生事業団様
IT機器をいただきました

令和7年3月7日(金)

西日本新聞民生事業団様の「歳末助け合いまごころ募金」として物品(パソコン2台)をご寄贈いただきました

生命保険協会北九州協会
高桑事務局長



ボランティア協会
古賀副理事長

一般社団法人
生命保険協会様
助成金贈呈式

令和6年11月25日(月)

生命保険協会北九州協会様より障害者の社会参加支援活動として活動助成金をいただきました

表彰おめでとうございます

公益財団法人 芳賀文化財団「第31回 北九州ボランティア顕彰式」

北九州市において顕著な活動をされた個人や団体を顕彰している芳賀文化財団ボランティア顕彰委員会に今年度ボランティア協会では以下の個人1名、団体1組を推薦しました

(個人部門)

大曲 一徳さん

長年にわたり、障害のある人へのボランティア活動の功績が認められ、今後の活躍が期待されます



(団体部門)

企救丘守り隊

代表 福谷 健さん

地区防災において積極的に活動し、先駆的に「防災を通じたまちづくり」を展開している団体です

広告

FA
Financial Alliance

生命保険会社30社損害保険会社16社を取り扱う総合代理店です。
様々な内容の保険商品を取扱うことによりお客様のニーズにお応えします。

ファイナンシャルアライアンス 株式会社

小倉営業所 波多野 宏武
坪 義人

小倉営業所 〒802-0005 北九州市小倉北区堺町2丁目1-1 角田ビル小倉803
Tel. 093-953-9222 Fax. 093-953-9223

ご協力・ご提供ありがとうございました。(敬称略)

○ご寄付(公益社団法人への寄付は、寄付控除の対象となります)

下畑 久志 竹田 英樹

○使用済み切手・テレカ・ハガキなど

佐々木順子 佐野 哉夫 下田 猛 竹本 豊

永田 芳子 平田 喜子 宮島 洋子 本野 鏡子

北九州手話の会新虹の会 北九州創声会

特定非営利活動法人(NPO法人) nest

KCS北九州情報専門学校同窓会

株式会社いち樹 株式会社イマナガ 株式会社ヤナイ

株式会社ジェネック 株式会社西田キーサービス

日本鉄塔工業株式会社若松資材グループ

北九州市障害者基幹相談支援センター

八幡東区役所保護課

○バザー品

宇野久美子 岡村 正子 公文真理亜

セルフヘルプ情報・北九州

会員の皆さまへ

前号で意向調査を行い、郵送料高騰とITを活用した時代の変化に対応していくために次号よりメール配信をはじめていきます。皆さまのご協力をお願いいたします。それに伴い、現在ネット環境などに不安のある方はボラ協でサポートしますのでご相談ください。

なお、今まで通り印刷物の郵送をご希望の方には引き続き郵送でお届けします。他にボラ協で手渡しなど多様な対応ができるようにしておりますのでお気軽にお問い合わせください。

協会カレンダー

1月

15日(水) 第3回福岡県福祉情報センター障がい者福祉専門委員会(宮崎)

中間支援組織連絡会(鈴木・船寄)

18日(土) 芳賀晟壽氏お別れ会(宮崎)

企救丘タウンミーティング(共催事業)

22日(水) 常任委員会

23日(木) 後期北九州市民カレッジ①(毎週木曜日全6回)

25日(土) 福祉フェスタinさわみ(共催事業)

第22期パソコンサポーター養成講座①(毎週土曜日全6回)

27日(月) 社会福祉法人北九州市手をつなぐ育成会虐待防止委員会(古賀)

2月

1日(土) 北九州市手をつなぐ育成会(親の会)

第44回「門出を祝う会」仲間と共に祝おう(岡田)

4日(火) 第2回八幡東区いきいき21推進協議会(宮崎)

22日(土) 視覚に障害のある人の外出支援ボランティア体験講座

【ゆう・あい 西部障害者福祉会館との共催】

北九州市障害福祉団体連絡協議会交流会(参加4名)

3月

5日(水) みんなの研修会

12日(水) 余暇活動支援者連絡会③

第2回北九州市立介護実習・普及センター運営委員会(古賀)

17日(月) 人権の約束事運動「ほつとハート北九州」推進協議会幹事会(宮崎)

22日(土) 令和7年度パソコンサポーター登録更新手続き及び現任研修

北九州バリアフリーフェスティバル音楽祭in若松にて募金活動

24日(月) 予算理事会

4月

5日(土) 西南女学院大学ボランティア講習会(宮崎)

11日(金) イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン贈呈式(宮崎)

5月

2日(金) 常任委員会

7日(水) 決算理事会

24日(土) 第44回定期総会